

大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局
 大阪市中央区道修町3-3-10
 大阪屋道修町ビル3F
 06-6232-1095

「震災復興と日本経済の再生はセット」講演会に54名

講師：兵庫県立大学名誉教授 菊本義治さん

2月17日(金)アイクルの部屋において、「2012震災と原発を考えるシリーズ第1弾」の講演会を開催し54名が参加しました。野村英隆代表世話人の開会挨拶のあと、菊本義治・兵庫県立大学名誉教授が「震災復興と日本経済の再生はセット」と題し1時間にわたって講演しました。当日、4月19日に第2弾の講演をお願いしている池永満生・京都大学名誉教授も参加され、迫力ある内容に参加者一同聞き入りました。講演のあとは恒例の懇親会。手作り料理に舌つづみを打ちながら、講師への質問を交え、楽しく歓談しました。

菊本さんは、阪神・淡路大震災を17年前に経験され、阪神・淡路大震災救援・復興県民会議代表として活動されてきました。まず初めに「東日本大震災からの復興で日本は再生できる。日本を再生することで東日本を復興できる」と結論を話されました。

以下講演の概要です。

自然災害は避けられませんが人災は避けることができます。地震と津波は自然災害です。原発リスクをどう見たらいいか。確率からいけばめったに起こらないと言います。しかしいったん起こればその被害総額ははかりしれません。これはもう明らかに人災です。

復興には保険と公的保障が必要です。保険で言えば阪神・淡路大震災の時は地震保険に入っている人はほとんどいませんでしたが今回はかなり増えていました。公的保障が必要なのは、生活再建は個人の力ではできないからです。

復興をどのようにすすめるか

被災者が元気になってはじめて復興ができます。阪神・淡路のとき私たちはそれに徹しました。立ち上がりは早かったんです。1万人を集めた集会も行いました。署名も数多く集めました。大きな壁であった「個人補償」を求める運動を行いました。

残念ながらその時には適用されませんでした。その後の災害には個人保障が認められるようになりました。これは、阪神・淡路大震災復興運動の大きな成果です。しかしこの制度は、まだまだ不十分です。額が少ない、住宅は援助するが店舗はだめ、また漁業、農業は適用外です。基金制度の拡充を図る必要があります。



講師の菊本義治さん

東日本大震災復興の基本は、被災者・現場の意見を聞き、現地に復興財源と決定権を委ねることです。この点、岩手県と宮城県ではまったく異なった対応を行なっています。どちらも保守的な県ですが、岩手が現地中心であるのに対して、県知事が松下政経塾出身の宮城は中央直結です。

震災復興による日本経済の再生

阪神・淡路での被害は約10兆円でした。公的支援も10兆円です。1995年に震災が起こり、復興需要でその直後の日本経済は上昇しました。東日本大震災の被害額は、政府は25兆円と言いますが、どんどん増えていくでしょう。講師：池永満生さん(京都大学名誉教授)

現在の公的支援は約18兆円です。これからの復興財源は大企業の内部留保266兆円をもとに復興債を発行することです。内部留保の1割で復興債を購入してもらおう。そして購入した企業には仕事も発注する。「どうぞ儲けてください」「儲けたお金は(設備投資に)使ってください」ということです。(2面につづく)

(1面のつづき)

もちろん地元企業を優先することは言うまでもありません。

ズバリ変える

日本経済を再生するためにどこに問題があるのか。お金が回らないことです。落語家の桂枝雀がうまいこと言っていました。「通貨」は「通過」だと。昔は「お足」とも言いました。つまり、経済の活性化とはお金が回ることなんです。インフレも困るがデフレはもっと困る。国民の購買力が低下し消費は停滞しています。

1998年以降非正規労働者が一挙に増えました。若者が老人を支える時代と言われますが、現実には、老人が若者を支えているんです。若者が家から出て行かない。自立できる賃金を払わないからです。さらに社会保障や福祉が悪化しているためますますお金は回りません。借金できるのも未来があるからです。大企業が利潤をあげながら投資しないのも、「現実利潤」はあっても将来への「期待利潤」が低いからです。

内需拡大のために復興債を発行する。借金を重ねて大丈夫かという意見が出ます。財政危機の現状を正確に把握することが必要です。「政府」の借金と「国」の借金とは違うということです。

「政府」としての借金は莫大な額です。しかし、「国」として考えたらどうか。国債を買っているのは大半が日本の企業であり、国民なんです。この点ではギリシャなどとはまったく違います。

消費税の増税は間違いなく景気を悪化させます。1997年に消費税は3%から5%に上がりました。その増加分がどうなったか。法人税引き下げの穴埋めになっただけなんです。所得税の最高税率と法人税率はずいぶん下がりました。それをなぜさらに下げようとするのか。方向が逆です。

夢のある日本を

本当にうっとうしい時代です。若者が夢を持ってない、老人が大事にされない。こうした現状に対する不満が「新しいファシズム」に向かいかねない状況もあります。しかし仕組みと方向を変えれば、若者に夢・機会を、高齢者に安心をもたらすことができます。日本にはまだまだ潜在的な力があります。自信を持ちましょう。私たちこそが、「愛国者」です。

なくそう原発 3・11 1万人集会

12:00～13:30

- ・集会プレ企画（バンド演奏、原発わたしも一言、震災支援体験談など
- ・原発・自然エネコーナー、震災支援バザー、体力測定、書籍コーナーなど

14:00～

・府民1万人集会

15:00～

・なくそう原発パレード

場所・扇町公園（地下鉄堺筋線「扇町」駅2号出口すぐ）

原発ゼロの会・大阪主催
午後2時に「大阪損保革新懇」の旗の下に再集合してください。

東日本大震災一周年

復興支援美術展アートフェア

3/10(土)～12(月)

天三おかげ館（天神橋筋商店街「扇町」寄り）

3/10～11（10:30～19:00）

大阪グリーン会館（天満・鳥居の筋）

3/11（10:30～19:00）

3/12（10:30～17:00）

- ・美術展・映画・トークなど

大阪革新懇・美術家革新懇主催

震災と原発を考えるシリーズ 2012-②

講演会「放射能と“健康・食”を考える」

4/19(木) 午後6時30分～

会場・アイクルの部屋

参加費:500円 懇親会費・1500円

講師:池永満生さん(京都大学名誉教授)

- ・憲法違反の職員アンケート調査の撤回を求めて橋本市長に抗議電報を打ちました。
- ・大阪市役所労働組合と大阪市労働組合連合会には激励文を送付しました。